

企業の採用活動の「今」を知って就活に活かそう!!

～様々な業界で人手不足が課題となっている今、

採用現場の動きはどうなっているの??～

日頃から多くの人事担当者と関わっている、株式会社マイナビ沖縄支社の安慶名さんにキャリアくんがお話を伺いました。



Q

新卒・中途(経験者)採用について、企業サイドからみた状況はどうなっていますか？

A

新卒採用

個別企業説明会の実施方法は、新卒採用の場合、ウェブでの実施が対面の約1.7倍と多くなっています。対面実施の場合は直接学生に会えるメリットがありますが、まずは、ウェブも活用しながら学生との接触機会を増やしたいという企業の意向があります。学生側にも気軽に参加できるメリットがあるので、より多くの学生に自社のことを知ってもらい、応募者を増やしたいという考えを持っています。面接においては、コロナ禍をきっかけにウェブ面接が浸透しました。

しかし、ウェブ面接のみでの選考だと入社後に「人物像がイメージと違った」という声もあり、現在は、県外からの応募者に対して1次面接などでウェブを活用するケースはあるものの、出来る限り対面での面接を実施する企業が多いように感じます。また、採用スケジュールは県内企業も早まってきており、新卒採用を積極的に行っている企業では、6月の段階で2026卒の採用活動を終了し、2027卒向けの動きにシフトしてきています。

中途(経験者)採用

中途採用(経験者採用)においては、転職希望者向けの合同企業説明会も実施されていますが、応募者に対して個別に会社や業務の説明を行うことで擦り合わせをしながら選考を進めていくといった傾向があるように見受けられます。そのため、合同企業説明会のような会場でも、個別の説明スタイルをとる企業があったり、面接ブースが設けられていることがあります。



キャリアくん

中途採用では、お互いに印象が良かった場合、その場で軽く面接!といった可能性もありそう。履歴書持参で参加するの一手ですね。

Q

中途採用(経験者採用)の場合、企業はどのような点を重視しているのでしょうか？

A

新卒採用はポテンシャル採用の傾向が強い一方で、経験者採用の場合は業務スキルや年齢など様々な中、一概には言えないのですが、県内企業からは“人柄重視”のお声も聞かれます。



退職理由に「人間関係」関連も多くあることから、即戦力も欲しいけど、“組織に馴染めるか”も重要視しているんだね。